

## 会 議 録

1 会議名

平成30年度 第2回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成30年度地域活動支援事業について（公開）

3 開催日時

平成30年5月16日（水） 午後6時03分から午後8時21分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、石野伸二、伊藤三重子、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、竹内恵市、西条聖士、山口茂幸、吉村清正

・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【小林主任】

・伊崎委員、土屋委員、永野委員を除く13名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：高橋委員、西条委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【佐藤センター長】**

資料により説明。

**【高宮会長】**

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

一次第3議題（1）平成30年度地域活動支援事業について—

**【高宮会長】**

次第3議題（1）「平成30年度地域活動支援事業について」に入る。

本日は、提案があった事業について全体討議を行い、その結果をもとに、基本審査と優先採択審査を行う。

今年度の提案状況について、事務局に説明を求める。

**【小林主任】**

- ・提案事業13件、補助希望額計1,138万5千円
- ・金谷区予算配分額850万円を288万5千円分超過

**【高宮会長】**

全体討議を行う。提案があった13件の事業について、順番に討議する。

昨年度は、3件の事業が基本審査で不採択になった。それを踏まえ、審査においては慎重な審議を求める。

整理No.1「金谷地区児童のスポーツ振興及び子どもの健全育成を図る事業」について、意見を求める。

**【吉村委員】**

すべての事業で、昨年も採択された事業について、決定した補助額がいくらだったか分かるか。

**【川住副会長】**

前年度分が添付されている。

**【石野委員】**

申請額はそれほど大きくなく、駄目とはならないと思うが、支出の内容で児童用

飲料等がよいのか分からない。よいからここに出てきたのだろうが、金額としては51,900円。昨年も上越南ミニバス教室は提案されて採択されていると思うが、前年と重複しないのか。一番大きいのがビブス整備費。これは新しく入った児童の分なのか、また今年も新しくするのか。昨年も20着。

**【小林主任】**

今年度はビブスの下の整備。要はパンツ。昨年度はビブスの上の整備。

**【石野委員】**

分かった。

**【高宮会長】**

整理No.2「正善寺ダム周辺の紫陽花の維持管理及び水質保全と環境美化事業」について、意見を求める。

**【川住副会長】**

金額が去年とほとんど同じで、全く同じ内容の作業をするのだと思う。毎年同じ作業をするということなので、よいのではないか。

**【石野委員】**

私は毎日見ている。確かにアジサイはずっと植わっているし、ずっと沿道にあるが、あまりきれいに剪定されていないし、あまり形も良くないし、あまりにも伸びてしまっている。あそこは細い道でカーブが多いため、あまり高くなると見えない。活動自体はよいと思うが、作業の内容には剪定作業が書かれていない。下草刈りだけ。せめてアジサイ祭りの前の整備と、冬囲いの途中できれいに剪定しないといけない。そうすると金額が高くなるが、毎年同じより、そういったことも考えることが必要。ただ植わっているだけ。

**【高橋委員】**

アジサイの管理を毎年しているのはありがたいが、ダムの周りのアジサイは市で植えたと思う。道路の方は関係ない。あの管理は、本当は市がしなくてはいけないというのが本音。市に話をしたのかどうかははっきりしないため、その辺がどうなっているのか解明すればよいが、そこがぼんやりしていて、自分たちだけでしている。他に市から補助金をもらっているのかも分からない。

**【川住副会長】**

ダム自体は県営であるため、県が周辺環境整備について把握していると思う。

**【石野委員】**

ダムサイトに管理事務所があり、駐車場までが県道。そこから上が全部市道。道路からダムサイドに下がった所が県の所有地になるが、基本的に道路の管理などは全部市が行っており、道路パトロールも市の委託業者がしている。今年除雪をした際に、倒木もかなりあったが、全部市の方で行った。奥に大きい橋があるが、あれも市。危険で補修もできていないため、通れない。ダムサイトにずっと桜が植わっていて公園のようになっているところがあるが、あの管理も市。土地は県だが、管理上は市である。

**【川住副会長】**

市は実際には何もしていないということか。地元の団体に任せているのか。市は何かしているのか。

**【石野委員】**

市は不法投棄の撤去くらいのことしかやっていない。

**【川住副会長】**

アジサイの管理などは一切していないのか。

**【石野委員】**

していない。

**【川住副会長】**

では補助金を出すしかない。

**【石野委員】**

ただ、ダムサイトの公園内の部分の剪定や草刈りなどは市がしている。それは柿崎ダムも一緒。

**【齋藤委員】**

私の聞いた範囲だが、市からお金をもらわず、唯一地域活動支援事業が活動資金と聞いている。高橋委員のとおり、アジサイの植栽は市が携わり、「あとは皆さん管理して下さい」ということだと思う。剪定については、自分たちだけであればどう

でもよいが、やはりお客さんと呼ばひ「正善寺ダムのアジサイはきれいだ」と見てもらうのであれば、季節によって色々であり、ライトアップ等も関係してくるが、やはりアジサイをきれいにしないと。その辺りは石野委員のとおり、私が見てもやはり大きくなっており、ある程度短くする必要があるが、誰かがしているのかどうか。市で植えているなら、もう少し市の方で。例えば、地域協議会でそういったことを話してもよい。正善寺の人からも言っているのだろうが、力不足であれば我々と連携を取るのもよい。ずっと継続だが、非常にシビアな金額で大々的なものがない。本当に維持管理費だけ。構成員は16人だが、活動は半分くらいしか集まらないのが実情。非常にありがたい。

**【高橋委員】**

アジサイは宮越市長の時に植えたはず。高田公園の土手にも少し植わっているが、あの当時一緒に植えた。相当経っていて老木になっており、近年よい花が咲いていない。見に行ったら、野球のボールくらいの花しか咲いていない。あれでは人気は下がり、最近人は全然来ていないと思う。有名にしたのはよいが、その後の管理。あんな老木になったのでは、管理しきれない。新しいものを植えていけば、また立派な花が咲くと思う。根が太くなり、地元の人に聞いても「あれはもう老木になって駄目だ」と。そのような状態であるため、事業を続けていくのはよいかもしれないが、市とこの団体でもう少し協議し、植え替えをするなど何か方向性を考えなければいけない。最近見に行った人はいるか。

**【石野委員】**

毎日見に行っている。下の方には全然葉がない。京都のアジサイ寺などはとても見応えがあるが、あれはただ植わっているという感じ。

**【高橋委員】**

あれでは人が集まらない。去年行った人は、もう今年には行かないと思う。市とこの団体がもう少し協議しなければならない。

**【石野委員】**

柿崎ダムの周遊道路は市道になっており、そこには桜が植わっている。それは県が植えて、市に全部移管した。市の職員や地元の人などが草を刈っている。周遊道

路も、柿崎区総合事務所の直轄ではないが、そこから団体に働きかけて、100人くらい集め、年2回草刈りをしている。市の公園であれば市がしている部分もあるが、していないところもある。

**【高宮会長】**

整理No.3「金谷区全域の防犯灯のLED化による住民の安全安心事業」について意見を求める。

**【石野委員】**

昨年と今年の状況は分かっているが、総額があまりにも高いことが引っ掛かる。金谷区は上限金額を決めておらず、どう配分していくかも決まっていないが、金額だけ引っ掛かった。元々蛍光灯の防犯灯がついているところのLED化であり、既存のものがあるため、少し送って、2年にまたがって設置することも考えられる。全くの新規ではないため、そういった考慮が必要ではないか。活動としては問題ない。

**【齋藤委員】**

確かに金額が昨年より多くなっているが、市の防犯灯のLED化事業は来年で終わることになっているため、来年はそんなにできなくなるのではないか。また、高田区ではこれを除外しており、他の区でも防犯灯のLED化の考え方が変わって来ているため、やりにくい部分もある。来年のことは分からない。我々町内も助かっているため、もう少しLED化してほしいというのが本音。100%この事業ですとは考えていないが、もう少ししてもらいたい。来年どうなるか分からないことを考えると、しっかり検討した金額だと思う。

**【竹内委員】**

結果的には去年より金額を上げて、今年度でほぼ終わらせる予定。来年の心配はせず、今年度で全て終わる計画になっていることを理解してもらいたい。これが認められれば、来年はない。減額になれば来年もあるだろうが、そう聞いている。

**【川住副会長】**

この計画も今年で3年目。去年も確か予算をオーバーしそうだったため100台減らしている。今年は473台。これで金谷区が全部LED化される。できれば早

く終わらせたい。少ない町内は終わっている。全部終わらせて今年で完結したいというのが、提案者の希望である。

**【高橋委員】**

今回金額が多くなったのは、市の市民安全課の方で、来年は補助金が出るか出ないか返事できないという話があったため。

この事業に間に合わなかったものは、各町内で予算付けしている。急な玉切れによる交換のため、町内で独自にしているところもある。それを集計したところ、100個くらい減ったため、一遍に出して終わらせてしまおうと。来年からは、皆さんに自由に活動を始めてもらえるのでは、ということで提案した。昨年までは、途中で様子を伺いながら、100個減らすなど金額に合うようにしていた。「どうして金額がぴったり合うのか」と質問攻めに合ったこともあった。そういったことをしていたが、今回はできれば一遍に終わらせたいという考えで出した。しかし、皆さんの方で金額が多過ぎて他の活動が難しくなるということになれば、例えば80%に減額するなど、できなくはない。となると、80%の減額で今の提案内容は全部できないため、提案内容の変更が可能かどうか、事務局に確認したい。

**【佐藤センター長】**

地域活動支援事業については、もし減額になって採択された場合、正式に補助金の申請をしてもらう段階で、提案書を減額した内容で書き換えることが可能である。この事業の場合、例えば382灯を2百何灯にするといった書き換えは可能。

**【高橋委員】**

見積書を新しく作ればよいのか。個数による単価を工事店にも聞いてみないと。個数が減ったら同じ単価でしてくれるか、確認していない。

**【佐藤センター長】**

それは確認が必要。採択を受けた額に合わせて、提案書に見え消しで変更したものを付けて出してもらえば可能。

**【高橋委員】**

減額された金額で同じ個数をしろと言われても、返事できない。中途半端にやめるわけにはいかない。各町内会平等にしなければならない仕事。今、新幹線で外部

の人たちがたくさん来ており、防犯パトロールをするにも明るくてやりやすい、またおじいさんやおばあさんも散歩するのに良くなったという声も聞いている。中途半端でやめるわけにいかないため、よろしく願います。

**【高宮会長】**

整理No.4「滝寺自然公園整備と環境保全・保護活動事業」について、意見を求める。

**【高橋委員】**

滝寺のミズバショウ再生やキノコの試食会などはよいが、前年度分の参加人数を見ると、実に参加人数が少ない。キノコの試食会の時だけ食べ物があるから来るが、それ以外は参加人数が少ないため、声掛けを。大した金額ではないが、もう少し人を集めてもらいたい。

**【竹内委員】**

団体の広報紙を見ると、まちづくり協議会だけではなく、農区や農家組合、町内会など、色々な団体が一緒になって活動しているが、金額的には地域活動支援事業だけの決算になっている。もう少し町内も協力すればよいと思う。また、ミズバショウはいつ見に行けばよいのか、同じ地域にいる私でも宣伝不足なのか聞いていない。こういった機関紙よりは、その都度、今ミズバショウがよいなど、教えてもらえばよい。だから参加人数が少ないのだと思う。

**【石野委員】**

他の区では、同じような活動内容が続けば、4～5年くらいはよいが、それ以降は減額される。新しい活動があれば、それは別途補助する。どんどん人が多くなっていればよいが、話を聞くと、特定の人が出ているという感じがするため、もう少し活動を横展開に。滝寺だけでなく、周りの町内も活動に参加されたらよい。来年以降の審査では、経年のものに対しては減額をしていくことも考えられる。

**【高宮会長】**

整理No.5「里道（旧後谷線）の整備事業」について、意見を求める。

**【川住副会長】**

去年に続いて金額的にかなり大きい。この2年続けて200万円超え。これが毎



年続くのか。来年の見込みはどうか。

**【石野委員】**

段数の割に金額が増えたのは、元々杭は簡単に打てるだろうと思い下地も関係なく見積りしていたが、実際は下が岩盤、ほぼ砂岩で歯が立たず、ユンボでも掘れない。電気ドリルでドリルの径を3回くらい変えて掘ってから杭を打つため、労務費が掛かり金額が上がってしまった。

来年地域活動支援事業が継続になれば、当然また提案するが、どれくらい掛かるかは不透明。計画上残っているのは、桜清水から林道に上がって行くルートで、一番急勾配な部分である。配分額が減額されれば、来年度は20段のところを10段にするといったことは考えられる。もう1か所大きいところがあるため、何とも言えない。土質が柔らかいところであればそんなに問題ないと思うが、完全に岩盤のところがあるため、この金額になってしまう。ただ、これが3年も4年も5年も同じような金額にはならない。

**【齋藤委員】**

これが採択されれば250万円、昨年と合わせて500万円近く。今年で終わるか分からないが。

これは歴史的にどうなのか私には分からない。また、どこまでこの事業をしていくのか。今までしてきたのをさらに整備していくのか。2年に分けてということかもしれないが。私は、完成したら行ってみたい。お客さんに周知し、散策ツアーを企画してほしい。

**【石野委員】**

色々広報などを配ったが、「行ってみたいがどう行けばよいのか」という問い合わせも結構ある。また、会に参加したいという人も金谷地区で5～10人くらいおり、協賛を考えたいという企業もいる。全線を開通したら、そういった部分でアピールしたい。去年整備した道路は、昔、上に城があり、春日山城より前だと思うが、尾根の部分を全部掘割して城壘にし、下から上がってくる敵を上から弓矢で射るために作られた道路で、元々きちんとした道路。そこを多少お金が掛かってもきちんと整備する。展望台に上がれば、ちょうど上越妙高駅が真正面に見え、景色もよい。

林道も併設して走っている。前回冊子を配ったが、ああいった歴史的な部分もある。当然、減額して採択されれば、考慮されるべき部分もある。減額されたからといって、全く事業が出来ないというスタンスではない。整理No.3の事業と同じ感覚。

道路のすぐ脇に、イノシシの掘った、イノシシの行水する穴があった。そういうのを公表するとあまり人が来なくなる。そこは粘土質で、雨水が溜まると水が全然抜けなため、残っている。今年もそうだが、うちのすぐ裏の竹林はイノシシがすごい。人が山に入って活動しないと、そういった獣がどんどんこちらに来てしまう。人が入ると全然違うのだと思う。

【高橋委員】

昨年と今年の整備場所を聞きたい。

【石野委員】

配布された資料の図面に記された③の坂が今年。昨年は⑤、⑥のところ。

【高橋委員】

③は去年終わったのか。

【石野委員】

③は去年何も手付かず。草刈りと伐採はしたが、階段の設置はしていない。

【高橋委員】

あちこち手を付けているのか。

【石野委員】

昨年始めたばかりで、⑤、⑥の急なところをした。

【高橋委員】

⑤、⑥は終わったのか。

【石野委員】

そのとおり。丸数字は写真番号。

【高橋委員】

今年は⑦くらいから最後までをするのか。

【石野委員】

⑪が林道と合流するところになる。⑪と⑩の間に桜清水がある。秋にここに桜を

4本植えて、3本が雪で折れた。⑪のところはかなり急斜面。ここは来年に回す。あとは③を終わらせてしまえば、歩行ができるルートになる。

【高橋委員】

完成後の維持管理はどうなるのか。

【石野委員】

維持管理は会で行う。

【高橋委員】

2年も構わなければ草ぼうぼうになる。木の芽も出てきて、木も大きくなってしまふ。

【石野委員】

周りの木が大きくなった方が、下に草が生えない。一旦きれいにすれば、それなりに。階段を作ったところは、今年の春カタクリが両側に咲いてすごくきれいだった。そういったことをアピール、周知するのも大切だと思う。ただ、南葉林道の上る手前のところが崩れてしまっている。

【高橋委員】

一度は行きたいと思う。

もし多少減額と言われたら、実施できるか。

【石野委員】

それは可能。

【高橋委員】

もし減額になるなら、これだけの金額になるため、例えば整理No.3の事業と、補助金希望額が100万円以上の事業を2割ずつ落とす。そうしないと、丸く収まらない。

【高宮会長】

整理No.6「金谷区（灰塚駐在所管内）の交通安全確保事業」について、意見を求める。

【石野委員】

昨年、2次募集でカーブミラーを整備した。今回ははっぴなど。今回の新潟市の

ような事件が起きないように、あのような活動に補助しないといけない。交通安全ばかりではなく、見回り隊などが非常に重要。ここもだんだん都会になってくる。

**【齋藤委員】**

カーブミラーとは違った形で、金額的にはそんなに多くないだろうが。交通指導員帽は金刺しゅうのワッペン付で、結構派手でアピール性のあるものを作ろうとしている。それが50個。何をしようとしているのか。交通安全のためにこれが必要なのかどうか。例えば飯地区では、このようなことは考えたこともない。交通安全に必要なものとなると、安全帽や旗など。キャップ帽でもきちんとしているのはあると思う。緑色のもので安くできるものもある。別のルートから支給されていて安く購入できる。

**【石野委員】**

今まで灰塚では、ビニールの帽子、ビニールのはっぴだった。その帽子を良くするためにこうなったと思う。これにした理由は分からない。カタログにあるキャップの種類の中では一番高い。なぜそうしたかは、もし基本審査を通れば説明を聞けると思う。

**【齋藤委員】**

今回はこれだけ。ベストとキャップ。

**【石野委員】**

確かベストは3年前に更新して配られた。それは地域活動支援事業を使ったかどうか。

**【高橋委員】**

買ったのではないか。

**【石野委員】**

犯罪が減ると思われる。

**【齋藤委員】**

防犯ではない。

**【石野委員】**

警察のマークも使える。

**【高宮会長】**

その辺は事業説明の際に質問をしていただきたい。

**【高橋委員】**

飯地区では、会費で皆揃えた。特別なものは、地域活動支援事業で整備したこともあったが。防犯活動にはこれは必要。交通安全だが、防犯も兼ねている。ただ灰塚地区と飯地区の交通安全協会でお金の集め方が違っている。灰塚の方は車の台数で納めている。飯の方は戸数割で町内会で納めている。そのため、灰塚は相当お金を持っているという話。「お金持ちだからこのくらいでないと似合わない」と、この品物を選んだのか分からないが、齋藤委員の言われたとおり、ちょっと豪華だと思う。50個では数が足りないのでは。今までのものがあるのかどうか。古くなったなど、説明はないが。

**【石野委員】**

各町内3つで50か。

**【村田副会長】**

14町内ある。

**【石野委員】**

各町内3つずつで、ぎりぎり。

**【高宮会長】**

整理No.7「憩いの場『中笑亭』新設事業」について、意見を求める。

**【石野委員】**

中ノ俣にお茶の会などを行う場所があるが、これをまた別に作りたいということか。

**【牛木委員】**

別に作りたいという考えらしい。

**【石野委員】**

元々あるものの維持管理は。雪下ろしはどうされているのか。

**【牛木委員】**

今のお茶のみ場所は、NPOで管理している。学校の職員の方。

【石野委員】

この活動内容は、そこを利用してできないのか。

【牛木委員】

できないことはないと思う。

【石野委員】

上越市で流行している建物行政ではなく、もう少し有効活用して。

【牛木委員】

場所は村の真ん中の平坦地にある。今のお茶飲み場は山の上で、冬になるとおばあさんたちが来るのは、なかなか大変。夏でもNPOが送り迎えをしている。

【石野委員】

前回出張協議会で多目的センターに行ったが、その中の部屋を改装するなどうまく使った方が、耐震性もよい。新しいものを建てるよりも。人は増えず減る一方であるため、維持など色々考えた時に、建物を建てるお金を出していいのか、難しい話。

【牛木委員】

利用する建物は、共同作業所だった。その組合がなくなり、建物を壊す前に利用したいという考えだった。

【石野委員】

リフォームして。

【牛木委員】

そのとおり。私も地元にいるが、首をかしげたくなる部分もなくはない。

【村田委員】

建物が古い。何年もつのか。

【牛木委員】

建物ばかり増やしても、利用者も少ない。地元で言うのもおかしいが、首をかしげてしまう。

【石野委員】

中ノ俣はこういった活動を非常にされていてよいのだが。前回も冊子を作ったが、

実際効果はほとんど表れていない。移住者が増えて何軒も入ってきたというのであれば、活動の成果があったと言えるが。ただ場所を作るとなると、活動なのか疑問。地域活動支援事業は、元々まちづくりなどの発展が一番の趣旨だと思う。それから少し外れると思う。

**【高橋委員】**

何年か前に、NPO法人の提案で「金左衛門」というお茶のみ場を作った。その活用はどうなっているのか。それと、写真を展示する場所を改造していた。古屋ばかり構っているが、その辺の運営はどうなっているのか。古屋を構うのが趣味なのか。NPOとは団体が違うかもしれないが。

**【牛木委員】**

「金左衛門」のお茶飲み場は、水曜日に年寄りを呼び、2時間ばかりお茶を飲んで話をしている。NPOが主体になり、送り迎えをしている。もう1つの写真館は、1回写真を飾ればそれで。あまりお客さんが入っていないのではないか。無駄遣いと言え失礼だが、そのような感じ。主にNPOの仕事である。

**【高橋委員】**

今回はだしの会で新しいお茶飲み場を作る。何個も要らないだろう。

**【牛木委員】**

今、戸数も38軒にまで減った。

**【石野委員】**

ついこの前まで40いくつだった。

**【牛木委員】**

皆一人暮らし。弱ると施設に入ってしまう。残念ながら発展性がない。

**【村田副会長】**

これは「ちゅうしょうてい」と読むのか。

**【牛木委員】**

私も良く分からない。

**【竹内委員】**

この前、出張地域協議会をした会場のすぐ前にこれを作ると言っていた。山の方

に上がって坂道を行ったところには前回作ったものがある。そんなにあちこちでお金を掛けなくても、町内会館のようなところでも十分使える場所がある。2つあるのに、もうひとつ作るのか。人数的、世帯数的に、そんなにお茶飲み場を作らなくてよいのでは。質疑応答の際に聞きたい。

**【高宮会長】**

整理No.8「金谷区飯支部の交通安全確保事業」について、意見を求めるがなし。

整理No.9「金谷フェス～BMX・音楽・食・アートの融合～事業」について、意見を求める。

**【高橋委員】**

こういった1回で終わる、お祭り騒ぎ的な事業は、市も本町で酒祭りをして人が来たと騒いでいるが、終わった後に死んだような町になるのは好きではない。継続性のあるものでないと。1回のお祭り騒ぎでお金を使って終わるようなものは。今までもしていたのかどうかははっきり分からないが。自分の趣味でそういったことをしているのだろうが、これが果たして活動なのか疑問である。お祭り騒ぎは活動ではない。一遍に金を使って終わりというのは。もう少し内容を変えればよいが、自分たちだけで集まり、大騒ぎして満足して帰られたのでは困る。

**【西条委員】**

聖地というので、ネットで見たら結構金谷山のことが出てきた。全国的にニュースになっているのを見たことがある。全国大会をしている。結構特殊な方というか、趣味の人のほかプロの人も来ているのだろうが、できればこういったことに興味のある地域の子ども達も招くような方針を出してもらいたい。今年の4月にできたばかりの団体であるため、これは初発で、持続的にする考えかもしれないため、基本審査で採用となれば、プレゼンテーションの際に主催者の方にそういったことを聞いてもよい。

**【村田副会長】**

初めてだが、来年度以降も続けていきたいと提案書に述べられているため、1回限りではないと思う。もちろん、基本審査を通れば、共通審査で当日尋ねればよい。

**【高宮会長】**



整理No.10「金谷北地区 亀割清水修復・春日山古道散策会の実施事業」について、意見を求める。

【村田副会長】

修復を行うというのは、清水の水が出ないのを直すということか。齊藤委員わかるか。

【齋藤委員】

亀割清水は分からない。

金谷北地区農村元気会は、国の中山間地の活性化の事業で、5年間くらいで2千万円、年間500万円くらいの予算で事業をしており、それが1つの母体。それとは違った事業で、地域活動支援事業の資金を活用したいということで提案したと思う。中身はよく分からない。掘って行けば色々と歴史的なものが出てくるようなところ。整備してはどうかというところがある。昔狼煙を上げたところがあった。復活ということで、春日山古道や滝寺のアジサイロード散策と結び付けていくのだろう。

【高橋委員】

清水を修復するのに100万円も掛かるのか。

【西条委員】

聞いてみないといけない。

【石野委員】

減額されたらできないという話になる。

【竹内委員】

これは滝寺か。

【齋藤委員】

滝寺ではない。金谷北地区農村元気会には、上正善寺も入っている。

【石野委員】

この水は飲めるのか。飲めないなら、修復しても仕方ない。

【西条委員】

この写真を見る限りでは分からない。ただの水溜まりになってしまっている。

**【齋藤委員】**

要は、この清水を整備するということ。100万円掛かるが、コンクリートでしたら意味がない。

**【高橋委員】**

必要なのか、疑問。

**【村田委員】**

土地は個人のもの。土地の所有者に了解済みと書いてある。個人の土地の清水をなぜこの会が。「個人のをなぜ直すのか」となり得る。去年も大貫で、文化遺産になるような業績の方の石碑製作が提案されたが。

**【齋藤委員】**

春日山全体は、昔は城だったが、国が持てないため、耕作している人などに分けて民地になった。その後、整備するために買い上げたが、民地がかなり残っている。畑など色々利用してきた。

**【高橋委員】**

例えば、毎日何十人も汲みに来る有名な名水で、今まで毎分10リットル出ていたものが、地震が起きて2リットルしか出なくなり、お客さんは水がほしいので直してまた確実に出るといったように。名水だと本に載っているような清水であれば修復も必要だが、100万円も掛けて、山の中の誰も行かないところで出ても。

**【村田委員】**

しかも個人のもの。

**【高橋委員】**

こんなにお金を掛けて清水を出しても、誰が利用するのかははっきり分らない。こんなところに水を汲みに行く人はいないだろう。全国的に有名なところならよいが、これは無駄な仕事のようなものである。

**【高宮会長】**

整理No.11「幼年野球活性化事業」について、意見を求める。

**【石野委員】**

去年もあった。14万円ならよいか。

【村田副会長】

去年は37万円だった。

【石野委員】

去年は防具などが相当高かった。

【川住副会長】

横断幕がある。

【西条委員】

対戦成績はどうだったのか。去年は「ぱっとしないので頑張る」と言っていた。  
打撃が向上したか、投手力が上がったかなどを聞いてみたい。

【吉村委員】

助成したのだから、成果がないと。

【高宮会長】

整理No.12「灰塚地区地域安全見守り事業」について、意見を求める。

【石野委員】

これから重要になる。

【西条委員】

事件もあった。

【石野委員】

防犯協会と交通安全協会のベストを変えているということか。新しく作るということか。

【川住副会長】

防犯協会は昔からある。

【石野委員】

ベスト。どっちがどっちだったか。

【川住副会長】

学校のPTAに配るため、足りないから買いたいと。

【吉村委員】

その出どころが防犯協会か。

【川住副会長】

そのとおり。

半分は会で負担して、残りを補てんしてほしいということ。ぜひお願いしたい。

【竹内委員】

「神谷」ではなく、「神山」。町内名を間違えている。

【高宮会長】

整理No.1 3「金谷山太鼓 継承・振興事業」について、意見を求める。

【齋藤委員】

昨年太鼓の修理で同じものが出ているが、別の太鼓か。

【村田副会長】

そのとおり。数ははっきり分からないが、順番で修復していると聞いている。

【齋藤委員】

ほぼ同じ金額になるのか。

【村田副会長】

そのとおり。20台分だと思う。

【石野委員】

太鼓は後援会で所有しているのか。

【村田副会長】

過去のことはよく知らない。

【石野委員】

3つの小学校に後援会があるが、高田西小学校は各世帯からの後援会費が一番少ない。このような提案が出ているということは、他はもっと高く取っているため、このような提案が出てこないということ。会として、会費の見直しをするべき。

【村田副会長】

戸数が多いため少ないという理屈だと思う。学校の生徒数が全然違う。

【石野委員】

生徒数は違うが、集める金額は一緒。

【村田副会長】

1軒あたりは少なくなる。

【石野委員】

黒田小学校は1世帯1,000円集めているが、例えば1世帯300円とすると、100円多く集めたらこれくらいの金額になると思う。今後の会費の見直しを、他地域との整合性も考えた中で検討してほしい。

【村田副会長】

今年は私が後援会長であるため、検討させてもらう。他の学校とは比較していないと思う。

【石野委員】

恐らくしていない。小さい小学校は1世帯2千円～3千円と、すごく高い。

【村田副会長】

高田西小学校は大世帯。そういったこともある。

【石野委員】

ちなみに飯小学校は後援会費が1世帯400円だったと思うが、どうか。

【齋藤委員】

400円。以前は300円だった。

【石野委員】

合計金額は、3校ほぼ一緒だろう。

【高宮会長】

続いて、基本審査と優先採択審査に入る。正副会長は審査に加わるため、事務局から会の進行をお願いすることでよいか諮り、委員全員の上承を得る。

【佐藤センター長】

基本審査を委員に依頼。

— 基本審査シート 記入・回収・集計 —

【佐藤センター長】

基本審査の結果を報告。

・「適合しない」が過半数：整理No.7、10

・「適合する」が過半数：整理No.1、2、3、4、5、6、8、9、11、12、13

優先採択審査を委員に依頼。

— 優先採択審査シート 記入・回収・集計 —

【佐藤センター長】

優先採択審査の結果を報告。

- ・「該当しない」が過半数：なし
- ・全ての事業が「優先採択事業」となる

高宮会長に進行をお願いする。

【高宮会長】

基本審査で不採択となる事業は、整理No.7、10、優先採択審査については、全ての事業が「優先採択事業」となることでよいか諮り、委員全員の上承を得る。

5月24日の地域協議会は午後3時からを予定。2事業が不採択となったため、30分ほど繰り上がるが、開催時刻を30分遅らせるかどうか、委員に意見を求める。

【高橋委員】

遅いも早いも関係ない。一生懸命な人は出かけてくる。仕事があるから行かないというのは、気がないということ。

【高宮会長】

開催時間は午後3時でよいか諮り、委員全員の上承を得る。

【石野委員】

1事業あたり15分の予定か。

【高宮会長】

そのとおり。

【石野委員】

11事業全てが「優先採択事業」になった。昨年の審査では、幼年野球の南スナイパーズが「その他の事業」となった。今年は優先で、去年は優先ではない。去年は僅差だったが、このような結果となってよいか。

【村田副会長】

それは考え方が変わったということだと思う。それ以外仕方ない。考え方は変わ

る。1年かけて変わったと理解してはどうか。

【石野委員】

これは何対何だったか。

【小林主任】

整理No.11の優先採択審査については、「該当しない」とした委員は2名、「該当する」とした委員は11名である。

—その他—

【高宮会長】

6月の会議の日程について決めたい。前回の会議で6月の会議日程について協議したが、後日改めて協議することになった。正副会長で改めて協議した結果、5月は会議を2回開催すること、6月は地域団体との意見交換会を開催すること、また急を要する議題がないことから、6月の会議は休会とするのがよいと考えた。このことについて質疑を求める。

【山口委員】

6月20日の会議はなくなったということか。

【佐藤センター長】

意見交換会はあるが、6月に行う地域協議会はなくなった。

【高橋委員】

このように決まったと言ってほしい。

【高宮会長】

6月の地域協議会は休会でよいか諮り、委員全員の上承を得る。

—次第4 事務連絡—

【高宮会長】

次第4「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

- ・今後の日程

第3回地域協議会 5月24日(木) 午後3時～ 福祉交流プラザ 第1会議室

地域活動支援事業 共通審査、採択

金谷区の地域団体との意見交換会

6月20日(水) 午後6時30分～

福祉交流プラザ 第1会議室

第4回地域協議会 7月25日(水)

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。